



未来をみすえる 自然農法主義宣言！

バランスα 通信

アルファ

愛しいペットの本当のしあわせを願うあなたへ Vol, 9

(株)高橋剛商会



〒170-0002
東京都豊島区
巣鴨 2-16-4-203
TEL 03・3576・5811
FAX 03・3576・5815

フリーダイヤル: 0120・76・5812

バランスαが・・・

愛犬チャンプ特別編集

「トッピングごはん実践 BOOK」で
紹介されました！！

著者

阿部佐智子（ペット life クリエイター）

日本唯一のペット life クリエイターとして、ペット life と飼い主さんの超実践幸せ情報をさまざまなメディアで発信中。

生まれつき、心臓の僧帽弁に異常がある、アレルギー体質、血小板減少症予備軍の愛犬キャパリア・華実（はなみ）を投薬なし、トッピングごはん＆手作りごはんケア。未発症記録更新中。

著書『トッピングごはん基礎 BOOK』ほか。

運営ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/happynaturalcare/>



監修

●ホリスティック獣医師

チロとサクラのクリニック院長 渡辺由香

病気になる前に予防できること、病気になっても最後までその子らしい暮らしができることを知ってもらい、その実践のために、ホリスティックな立場での診療を行っている。

日本大学農獣医学部獣医学科卒業 日本ホメオパシー医学会獣医認定医 マクロビオティック師範科卒

●ホリスティック獣医師

アネモネ動物病院院長 阿部知弘

東洋医学、ホメオパシー、パッチフラワーレメディ、アロマセラピー、レイキヒーリングなどの代替医療を併用しながら苦しみのない動物医療を実践。

日本ホメオパシー医学会認定獣医師 日本ホモトキシコロジー協会顧問獣医師
パッチフラワー公認プラクティショナー オーラソーマ公認プラクティショナー



著者 阿部佐智子さんが・・・

「使って本当によかったサプリメントを公開！」ページで、『バランスαのパワーの源は酵素。その高い抗酸化作用が魅力。シニア犬、重篤な病気のコにもオススメ。』と紹介されています。

阿部佐智子さんがサプリメントを選ぶポイントは、次の4点だそうです。

- 天然成分 100%に近いもの
- 原材料がしっかり明記されているもの
- 原材料の安全性が確認できるもの
(できればオーガニック系など)
- 愛犬だけでなく、家族で使えるもの



今回は・・・この本の中身を少し紹介させていただきますね。
プレゼントのお知らせもあります。

がん細胞は毎日発生

さまざまな危険物質に現代犬はさらされている。

私たちヒトの場合、若くて健康でも体内では毎日3000個以上のガン細胞ができていて、発ガンの機会を狙っているといわれています。それはわんこでも同じ。

その一因となっているのは、車の排気ガス、水道水の中の塩素化合物のほか、食べ物の中の残留農薬や食品添加物、ケア用品などに含まれている化学薬品などなど、自然ではないものたちです。

さらに電磁波、紫外線、放射性物質など、私たちが気づかないうちにわんこの体を攻撃し続けている物質もあります。

しかし、生物の体には有害な物質や生命維持活動を邪魔するような物質を排泄しようとする「解毒能力」=デトックス力が備わっています。

ガン細胞が毎日できていても発病しないのはこのデトックスのお陰なのです。

ただし、体内に吸収されたこれらの危険物質の量が、わんこの解毒能力を超えてしまうと、体調不良やさまざまなトラブルの原因になってしまいます。

やがてそれが病気につながり、最悪の場合はガン発症に。わんこの死亡原因のトップは、私たち同様「ガン」なのです。

元気の三原則+αを含む食事でデトックス力を高め

わんこの生命力を高める

現代のわんこを、この危険な状態から守るには二つの方法があります。

一つはできるだけ有害な物質を体の中に取り入れないようにすること。残量農薬や食品添加物、化学薬品などは注意することである程度は少なくすることができるでしょう。

もう一つは、体内の「解毒能力」=デトックス力を高めて有害な物質を対外にどん

どん排出できるようにすることです。

そのために重要なのが日々の食事です。

人肌程度の十分な水分を摂り、解毒作用の高い食べ物を食べ、さらに酵素・抗酸化物質・ミネラルといった、元気の三原則+αの要素を積極的に摂取することでデトックス力のアップに大いに役立ちます。

そして、デトックス力の高い体になれば免疫力も同時に高まるため、ガン細胞をやっつける能力もパワーアップします。



元気のプラスα 抗酸化力

体のサビは老化の原因。

活性酸素は体に悪影響を与えることで有名ですが、例えばわんこが息をしても、食べ物をエネルギーに変える時にも発生してしまうものです。

特に脂肪やたんぱく質の食べ過ぎによって発生する老廃物は、体内に蓄積して活性酸素を発生させます。また電磁波や紫外線・放射能、さらに精神的ストレス、そして食べ物やケア製品、薬などに含まれている化学物質など、



さまざまなものがわんこの体内で活性酸素を発生させ、遺伝子を傷つけてしまいます。

その修復機能が間に合わなくなったときには、病気のもとが作り出されてしまうのです。この活性酸素に対抗する力が「抗酸化力」です。

ビタミンC、E、β-カロテン、ポリフェノール、タウリン、その他各種ミネラルなどが抗酸化栄養素として、わんこを体のサビ=酸化から守ってくれます。

これらは単体でとるよりも、複数のものを複合的に摂ることで、より高い効果を発揮してくれます。過剰な活性酸素の発生を抑えれば、自ずと肝臓の働きもよくなり、結果的に解毒がスムーズに行われるようになります。

定価1500円の「トッピングごはん実践BOOK」を・・・
先着10名様に無料でプレゼントします。送料も無料です。



未然に防げよう! ペットの幸せは飼い主の知識から



動物だって歯が命。口内ケアは「やれたらやった方が良い」というレベルの話ではなく、シャンプー以上に必須のケアです。

「歯」という字がつくだけに、口腔内だけの問題と思われがちですが、他の病気と大きく関係していることが知られています。

難病の子は歯石がひどかったり、歯周病が進行していることが多いのです。

この口で繁殖した細菌が、血液などの体液を介して、体中に広がって悪さをしている可能性を否定することは難しいでしょう。

犬の歯を隅々までみがくことは難しく、飼い主さんからは見えない歯の裏側や奥に、食べカスや歯垢が残っていることがあります。

この汚れから発生した細菌が、歯の根元にある歯周ポケットに入り込み、歯周病を引き起こします。

歯周病はほうっておくと最終的には歯の根元を腐らせ、たくさんの歯を抜かなければならなくなってしまう恐ろしい病気です。というも、歯周病にかかっているにも見た目には異常がないこ

ともあり、つい見逃して手遅れになることも少なくないのです。飼い主さんが気づかないうちに歯の根元で歯周病が進み、まわりの歯にまで広がってしまうことも。

さらに、歯周病を放置したままだと、細菌がほおやあご、鼻の骨に及び、骨に穴があいてしまったり、細菌が口から全身に広がり、心臓病や腎臓病を引き起こすこともあるのです。



重度の歯槽膿漏で、犬歯周辺の歯茎の肉が壊死しています。そこに、大量の食べかすや本人の毛(毛づくろいした時に挟まったもの)が詰まっています。

この写真では見えませんが、壊死したのは歯茎だけではなく、犬歯周辺の上顎の骨も壊死して溶けてしまっています。つまり、むき出しになった上顎の骨の周辺に、ヘド口のような

腐った食べかすが詰まっている状態。これがいかにひどい状態か、自分自身のお口で想像してみてください…。

こんな状態でも、ワンちゃんは誰かが気づいてくれない限り、耐え忍ぶしかないのです。

歯磨きが一番!

処置をするにもやはり麻酔が必要になってきます。他に病気があったり、高齢であったりすると、麻酔をかけるのも難しくなることがありますので、歯の処置をしたくともできないということになってしまいます。

できるなら、こうした処置をせずに過ごせたら一番ですね。

では、飼い主さんはどのように歯周病を防いだらよいのでしょうか?

「ホームケアによる予防と、獣医師の検診による早期発見の両方を行うと万全です。

ホームケアの中心は歯みがきになりますが、毎日少しの時間でも続けることが大切です。



嫌がるから、うまくできないから、と歯みがきをやめてしまう飼い主さんもおおいですが、愛犬が歯みがきを楽しいと思うように、徐々にしつけましょう。

しかし、歯周病を防ぐためにいちばん大切なのは、細菌の入り口である歯周ポケットを清潔にすること。

歯周ポケットは歯の根元にあり、さすがに飼い主さんの手では完全にみがききれませんから、定期的に獣医師の検診を受けてケアをしてもまったほうが安心です。

口臭が少しでも気になったら要注意です。

愛犬が元気で食欲があれば病気ではないと思っている飼い主さんが多いですが、口臭があれば口にトラブルがあるはず。獣医師に相談し、歯周病を初期段階で防ぎましょう。



熱中症にご用心!

犬が熱中症を発症する恐れが出てくるのは、気温 25℃以上、湿度 60%くらいとされています。

実は、犬たちはどちらかというと湿気のほうが苦手なんです。

通気をよくしたりして、湿気対策を忘れないでくださいね。

夏場の散歩の注意点

日中、炎天下のアスファルトはとても熱くなっていますので、犬が足の裏をやけどをすることもあります。

人間より体高の低い犬はアスファルトの照り返しをまともに受け、熱中症や熱射病を起こす危険もあります。

夏場は朝晩の必ず涼しい時間帯を選び、水を持参してこまめ

な水分補給をしてあげてください。

夏は犬にとって魔の季節。一瞬の油断が熱中症を引き起こし、最悪死に至ることも。

ちなみに、「夏バテ」と「熱中症」は別モノなのでご用心!

ウサギ・ハムスター・リスなども暑さ対策は不可欠です。

便利グッズの紹介

熱中症の注意レベルを 4 段階でカラー表示します。温度、湿度から暑さの指数を想定し、「注意」「十分注意」「厳重注意」「危険」の 4 段階に分類した熱中症の予防注意レベルを文字盤上に表示しますので、一目で今の室内環境を把握できます。





人間並みの先進医療か？ ホリスティックな自然療法か？

人間並みの先進医療受診可能な時代、
自然療法を希望するペットオーナーが急増。

現在の獣医療の現場は動物の病気を薬や注射、手術などの西洋医学の手法を主に使って治療されています。

西洋医学のすばらしい点もたくさんありますし、それを捨てる必要はないと思います。

しかし、見つけ出される病気が多様化する中で、果たしてそれだけでいいのでしょうか・・・？

病気の種類によっては、西洋医学的なアプローチが根本的な解決になっておらず、単に症状を抑えるだけの対症療法的なものになっている事がしばしばあります。

しかも薬による副作用、手術による後遺症が、治されるべき動物を苦しめたりもします。

もっと動物の根本を見つめ、根っこから病気をたたいていき安全で安心な治療法を考えなければいけないのではないのでしょうか。

そんな中で、西洋医学に代わる医療、あるいは西洋医学的な治療を助ける医療が自然療法なのです。

ホリスティック療法とは？

一口に言って、西洋医学以外の療法のこと。

ただ病気だけを治すのではなく、「病気を起こす動物の体を調整している」とする治療法。

これからの獣医療は西洋医学と代替医学、その両者の共存を考える事によって、より快適で健康な一生を動物たちに提供できるのではないかと考えられています。

また、ホリスティックというのは病気を一つ一つ個別に考えるのではなく、病気を起している動物の全体を捉えて、体全体を治していくことによって病気を治していくとする医療です。

人も動物も本来、自身も持っている自然治癒力があります。何かの副作用で自然治癒力が低下して病気はもたらされます。自然治癒力を最大限に高じて本来の力を取り戻させ自分の力で病気を克服していく手助けをするのがホリスティックな自然療法です。

自然治癒力を高めることは、医薬品の副作用などのデメリットを避けながら上手に病気と闘うための手段でもあるのです。

しばしば代替医療とホリスティック医療は同義語として捉えがちですが、ホリスティック医療の手段として代替医療が使われるのです。

抗酸化飲料「バランスα」を無料でお試しできることを

今すぐ、あなたのペットつながりの方に教えてあげてください。

商品と同じ500mlサイズを一本お届けします。

さらに・・・

バランスα公式ガイドブック「バランスα読本」、

ペット特集ニュースレター「バランスα通信」バックナンバーをプレゼント。

もちろん送料も無料です。

お申込みいただいてもこちらからお電話することはございません。

ご請求方法はカンタン！



お電話の場合は・・・通話料無料のフリーダイヤル



0120-76-5812

(9時～17時、土日祝休み)



FAXのご場合は・・・別紙、サンプル申込み用紙に必要事項をご記入のうえFAXするだけ。



インターネットの場合は・・・**バランスアルファ** で検索。



バランスαは、保存料、着色料、味付けのためのフレーバーなどは一切添加しておりません。完全無添加です。

※無料サンプルは1人でも多くの方に試して頂けるよう1家族様一本とさせていただきます。